

高齢者を敬う社会の実現にむけて

人の一生は、赤ちゃんからお年寄りまで、どの年代をとっても人として人権が守られなければならないことは言うまでもありません。高齢者の方々も明るく日々生活できる社会こそが、本当に人権の守られた社会であると思います。

さて、総人口に対して、65歳以上の高齢者の割合が14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」とされています。わが国は今、平均寿命の伸びや少子化等を背景に、人口の四人に一人が65歳以上の高齢者となっており、世界一の長寿国と呼ばれています。

高齢者の方々は、豊かな知識と経験を基にこれからも社会に貢献したい、人との交流や旅行を楽しみたい、趣味を楽しみながら悠々自適に暮らしたい・・・など、さまざまな思いを持たれていると思います。また、高齢になった現在でも仕事に就かれて、若者に負けないくらい頑張っている方もいます。このように、充実した日々をお過ごしの方も大勢いると思います。

しかし一方では、高齢者が巻き込まれる悲しい出来事も起きています。いわゆる悪徳

商法や特殊詐欺などの多様な犯罪や人権侵害などの事案です。さらに、介護施設での虐待や家族の過度の介護負担などの問題が報道される機会も多いです。

高齢者に対する犯罪や人権侵害が問題化してくることに対応して、平成7年に「高齢社会対策基本法」が、平成18年には「高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律」が施行されています。また、国連では平成11年を「国際高齢者年」とし、世界中に向けて、この問題を解決するように啓発してきました。

このように、国際的な流れや法整備などは進んできていますが、これらの理念や考え方を実際の生活に生かしていくことが課題です。「子ども叱るな来た道じや、年寄り叱るな行く道じや。」という言葉があります。今は若くても、年齢を重ねれば、人はいずれ高齢という領域に足を踏み入れることになります。今、高齢者の車イスを押している方も、いずれは自分が押してもらう側にもなるかもしれません。年長者を敬い、大切に

社会の実現に向けて、道を行きましよう。

(参考資料：法務局人権擁護局「人権の擁護」)

講師紹介

「小松島市人権教育・啓発推進者研修会並びに第1回人権教育学級」

【日時】2019年7月12日(金) 午後2時

【講師】山中 千枝子さん

公立中学校、人権啓発センター勤務、社会教育主事、野老山小学校長(野老山発おとなの学校)越智小学校長等を経て、千斗枝グロバル教育研究所・こうちねつと見守り会議を設立。研修、講演、啓発、支援活動などを続けています。高知県生まれ

【演題】(分野) インターネットと人権

市人権推進課(教育庁舎1階)

TEL 32・2122

FAX 33・3525

Mail:jinkensuishin@city.komatsushima-i.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (355) 松並敦子・選

ばあばってわつと駆け来る肉声にくせいが音符おんぷになりそう二月の空港

横須町 山崎 泰子

身内みうちみな黄泉路よみじへ船出すわれ一人渚なみぞの夢は覚めてもうつつ

江田町 深田 伴子

何なに不自由ふじゆうなき友がかりし病なり食事制限せいげん甘き物禁止きんし

横須町 三宅 敏恵

大物のぶり釣り上げて威勢いせいよし日焼けひやの息子こやったぞ今日は

赤石町 田原トシ子

曾孫はテニス全国大会出場と夜を日に継つぎて練習にはげむ

櫛渕町 松下 玉枝

寝たきりはダメダメダメと午前午後住いの廊下ろうかきりつと歩

神田瀬町 大西カヲル

毎日の寒さやわらぐ弥生やよい待つ古びた体の置場所おきばしよさがし

坂野町 橋本千代乃

人事異動じんじどうルーペ覗のぞいて息子の名を探さがす朝刊インクの匂い

田浦町 太田カツミ

潮騒しほざわの町に住みいて海を見ぬ日日の暮しも十日を過ぎて

横須町 福島 夢栄

母よりも長く暮らした姑ははとの歳月はははやっぱり私の母です

立江町 湯浅かや子